

感染経路は、主に飛沫によるもの

せきや会話を介したウイルス感染

感染者

小さな粒子は空中を漂う
「エアロゾル感染」の可能性

約1~2分

大きな飛沫

約1~2分で落下
「飛沫感染」

大きな飛沫

マイクロ飛沫
(エアロゾル)

マスクやフェイスシールドの効果 IHUFFPOSTI

不織布マスク

吸い込み飛沫量 70%減
吐き出し飛沫量 80%減



布マスク

吸い込み 35~40%減
吐き出し 60~82%減



ウレタンマスク

吸い込み 30~40%減
吐き出し 50%減



フェイスシールド

吐き出し 20%減



マスクの効果は完全ではない。
フェイスシールドはもっとダメ
特にマイクロ飛沫の吸い込みは
うまく抑えられない

「不織布マスク + 十分な送風・換気」が必要
特に変 株流行の中では、マイクロ飛沫対策が大事
トイレでの飛沫感染はほぼ起こらない

感染対策は重ねることによって強い効果を引き出すことができる

以下の数字は正しいものかは別として、例としてあげる。

- 双方がマスク着用することにより、感染リスクが約10分の1となる
- 双方が対人距離を保つことにより、感染リスクが約2分の1となる
- 室内では送風・換気をする事により、感染リスクが約2分の1となる
- 双方がワクチン接種を受けることにより、感染リスクが約5分の1となる

これらの感染対策をすべて行う人のリスク減少の程度は、掛け算となる：

$$(1/10) \times (1/2) \times (1/2) \times (1/5) = (1/200)$$

なにも対策を講じない人に比べて、約200分の1となる可能性がある。